

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.259)

1. 全国労働衛生週間の取組について

10月1日から7日まで実施された第76回全国労働衛生週間に、『ワーク・ライフ・バランスに意識を向けて ストレスチェックで健康職場』をスローガンにして、労働衛生活動に取り組みました。

1日(水)に開催した衛生大会では、所長と運転会社社長から、「これからはライフにも目を向けられる職場づくりが大切」との訓示がありました。

これを機会に自らの健康と安全を守る意識を高め、より良い働き方について考え、行動に移していきます。



2日(木)には、保健師による健康教室「正しく知って対応しよう!身近な病気～科学的根拠に基づくがん予防～」を開催しました。

統計では日本人の2人に1人は”がん”になり、大腸がんが最も多く発生しているとのことでした。科学的根拠に基づく予防法として、禁煙、節度ある飲酒と食事、運動及び体型維持に努めることでリスクを低減でき、併せて「がん検診」で早期にがんを発見できれば、9割以上が完治するとの説明があり、改めて早期発見が大切なことを認識させられました。

2. 交通安全街頭活動を行いました

9月24日(水)に、豊田市の「秋の交通安全市民運動」に参加しました。

秋は日の入り時間が急激に早まり、夕暮れ時は運転者から歩行者や自転車の動きが見えづらく、さらに仕事や学校からの帰宅時間とも重なるため、歩行者や自転車が被害に遭う交通事故の危険性が高まり、重大事故が多く発生しています。

当事業所からは、JESCOと運転会社の社員17人が、交通安全の横断幕やのぼり旗を立てて、通行するドライバーに、安全運転を呼び掛けました。



3. 健康講話について

当事業所では、社員の健康管理の一環として、産業医による健康講演会を定期的で開催しており、本年度第2回目を9月30日（火）に「ワーク・ライフ・バランスに意識を向けて ストレスチェックで健康職場」をテーマに開催しました。

今回の講話では、メンタルヘルスを取り巻く現状、職場のストレスを高めるリスク要因、ストレスの予防、セルフケア及びラインケアなどについてお話がありました。ストレスを溜めずに仕事や生活を送る方法などを確認し、セルフケアの重要性を再認識しました。



4. 令和7年7月の環境モニタリング結果について

令和7年7月のモニタリング結果

区分	場所	7月結果	管理目標値	単位
排気	PCB	建屋排出口1 (1-4系ガラリ)	0.001未満	mg/m ³ N
		建屋排出口2 (5系)	0.001未満	
		建屋排出口3 (6系)	0.001未満	
	DXNs	建屋排出口1 (1-4系ガラリ)	0.00063	pg-TEQ/m ³ N
		建屋排出口2 (5系)	0.0000032	
		建屋排出口3 (6系)	0.00050	
排水	PCB	放流口	0.0005未満	mg/l
	DXNs		0.0029	pg-TEQ/l



排気測定の様子

当事業所では、排出源と周辺環境の2種類の環境モニタリングを実施しています。排出源モニタリングでは、施設における排気、排水、騒音、振動、悪臭を測定しています。このうち、排気、排水中のPCBとダイオキシン類(DXNs)については、年4回測定しており、令和7年7月のモニタリング結果は、豊田市との協定で約束している管理目標値未満となっています。

なお、周辺環境モニタリングを含めた年度毎の結果などについては、以下のリンク先のJESCOホームページでご確認いただけます。

<https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/report.html>



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問合せ先

アザラシのびーちゃん

